

わの川だより

あおりの川を愛する会

わの川だより 第29号

発行日：令和7年3月31日

「令和6年度を振り返り」

青森県県土整備部河川砂防課長 今井 博之

【はじめに】

令和6年度は青森県において前線や台風などの影響による目立った被災は見られませんでした。東北では7月の梅雨前線による影響で、秋田・山形の県境付近において大規模な被害が発生しており、秋田県では3年連続による被災、山形県の最上川では氾濫した一部地域の集団移転を検討するなど、青森県としては「明日は我が身」と思った次第です。

実際のところ、近年の梅雨前線は北上して東北地方に停滞する傾向があり、国土交通省への要望活動に伺った際、幹部の方々から「東北地方が危なくなっているね」とよく話されています。

当課としては、引き続き河川改修や堆積土砂撤去・雑木伐採を進めるとともに、一部河川において気候変動を踏まえた河川計画の見直しを検討するなど、防災・減災、国土強靱化を目指して参ります。

令和6年度は例年以上にイベントが多く、また二級河川では東北初となる「特定都市河川の指定」がありましたので、主なものについてエピソードや裏話を交えて紹介させていただきます。

目次：

「令和6年度を振り返り」	P1
親しめる川づくりサークル 令和6年度活動報告	
令和6年度総会・講演会	P4
令和6年度「水辺で乾杯」 水辺関心創造アクション	P5
後長根川源流の地 標柱建立報告書	
河川技術講演会	P6
薦川の清掃活動	P7
魚類の移動経路の 維持活動	P8
駒込ダム 本体建設工事見学会	P9
津波講演会	P10

【岩木川総合水防演習：5月26日（日）】

国民の生命と財産を水害から守り、水防に対する理解を深めることを目的に5月を「水防月間」と定め、例年、東北6県を持ち回りで「水防演習」を開催しています。令和6年度は本県が平成28年度以来8年ぶりに開催地となり、鶴田町保安橋付近において、当日は天候にも恵まれ、約2千人が参加しました。しかし、開会式でちょっとしたハプニング。知事へ腕章を着けた当課職員が誤って右に着け、後ろから進行を確認していた私は非常に気まずい思いをし、開会式直後に早速、腕章を直しました（知事は苦笑い…）。



【りんご娘の国土交通省訪問：5月31日（金）】

近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水災害に対し、流域内のあらゆる関係者が協働して取組む「流域治水」を県民へ広くPRし、自分事化として捉えてもらうことを目的に、本県とインフラに関する広報等について連携している「りんご娘」出演の動画を作成し、令和6年2月公開しました。



内容は「りんご娘」が流域治水を学んでいく分かり易いストーリーで、田んぼダムや家庭でもできる雨水浸透施設の紹介となっており、国土交通省水管理・国土保全局長室前のモニターで常時放映されました。

こうしたところ、「りんご娘」による国土交通省訪問の企画書が「熱心なファン」の方から当課へ送られ、リンゴミュージック社へ相談したところ、新潟公演の移動日（5月31日）であればOKと快い返事をいただいたことから実現しました。

撮影は水管理・国土保全局長、政務官への表敬訪問、防災センターのモニター体験、国土交通省探検などの内容で、地下の蕎麦屋（日豊庵）の紹介では、急遽、古市県土整備部長がクイズ出題の司会をするなど、短期間にもかかわらず無事に撮影を終えることが出来ました。関係者の皆様に感謝です。



【あおもり流域治水シンポジウム：6月28日（金）】

令和6年度は「総力戦の流域治水」として広くPRするため、重点施策として予算化しており、被災自治体の体験談と知事による流域治水の意気込みを企画し、土砂災害防止講演会とタイアップして開催しました。

まず、被災自治体の体験談は、私の中で令和4年7月の大雨で鳴瀬川水系名蓋川が破堤し、大規模な浸水被害が発生した宮城県大崎市が真っ先に浮かびましたので、講演を伊藤市長へお願いしましたが、講演時間の半分は大崎市の紹介に時間を割き、本題の「水害に強いまちづくり」へ話が進まずハラハラしましたが、最後はうまくまとめて頂きました。

また、国土交通省砂防部砂防計画課長の國友さまから「流域治水と砂防に関する話題と能登半島地震の被害状況」を講演、また、知事から県民一人ひとりが流域治水を知り、水災害を自分事として捉え、共に行動する自助、共助、公助が大切だと講演して頂きました。

なお、今回のシンポジウムの合わせ、りんご娘の「うちわ」を300個用意しましたが、思いのほか好評であつという間になくなりました（在庫はありません）。

【中村川特定都市河川の指定：7月31日（金）】

令和4年8月の豪雨により、甚大な浸水被害が発生した鰯ヶ沢町の中村川では、国、気象台、県、町、JRなど流域内のあらゆる関係者と協働して水災害に取り組むため、令和5年3月に策定した「中村川流域治水緊急対策メニュー」を進めてきましたが、その対策メニューの一つに「特定都市河川の指定」を掲げ、令和6年7月に二級河川で東北初となる指定を行いました。

この「特定都市河川の指定」により、流域内の一定規模以上（青森県は1,000㎡以上）の開発に対して雨水貯留浸透施設の設置が義務化され、これらの施設には検査済証番号、構造の概要、施設管理者など標識の設置を県条例で定める必要があることから、6月議会で制定しました。

中村川流域においては、今回の指定により、流域治水を更に強力に推進できると期待されます。



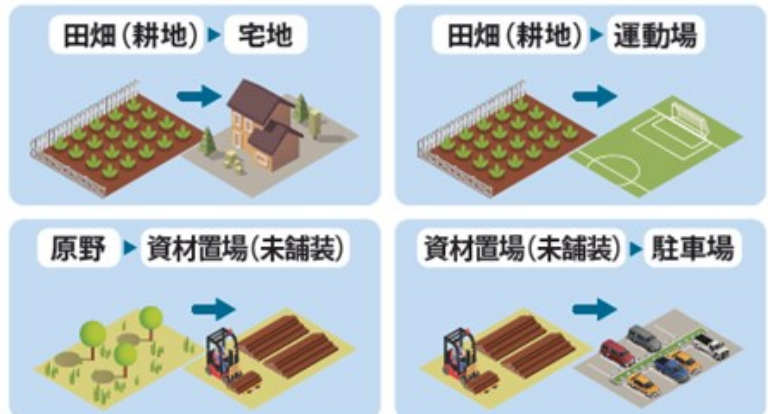
指定されると
どうなるの？

田畑など締固められていない土地で行う1,000㎡以上の雨水浸透阻害行為（雨水がしみ込みにくくなる行為）に対して、**雨水貯留浸透施設（調整池等）**の設置及び青森県知事の**許可が必要**になります。

1,000㎡以上の雨水浸透阻害行為

- 林地、原野、耕地などの整備が対象になります。
- 資材置き場の造成や駐車場の整備等も対象になります。
- 既に造成済みの土地や調整池を設置済みの土地でも、更に締め固めるような土地に変更する場合は対象となることがあります。

対象となる行為（雨水浸透阻害行為）の例



【あおもり流域治水キャンペーン：秋季】

シンポジウムと同様の目的に、地域住民を対象としたキャンペーンを大型商業施設（9月23日イオンモールつがる柏、10月14日サンロード青森）で開催しました。

イベント内容は、パネル展示や模型による土砂災害の施設効果実験、青森河川国道事務所の協力でVR映像による水災害の危険性を体験、岩木川ダム統合管理事務所の協力で模型によるダムの効果実験を行い、約600人の集客となりました。

キャンペーンは模型やVR映像が子供連れ家族に大人気で、集客の必須アイテムとなりましたので、当課に関連する土砂災害模型について、これまでレンタルで東京の土砂災害防止広報センターから借用してきましたが、輸送費が高いため、今後の展開を見据え、購入（約百万円）することとしました。

流域治水のパネル展示



3Dハザードマップコーナー



ダム効果を学ぶ模型実験



以上、令和6年度の主な内容を紹介しましたが、当課職員並びに関係者の御尽力で、様々なイベントを無事に進めることが出来たことに感謝します。

最後に冒頭で述べましたが、近年は東北地方で災害が頻発し、本県においても令和3年・4年と連続して大規模な災害が発生しました。

その際には「あおもりの川を愛する会」の皆様にもお力添えが必要となる場合もありますので、是非、御協力を申し上げまして私の巻頭の言葉とさせていただきます。

●親しめる川づくりサークル 令和6年度活動報告 サークルリーダー 南 直之進

令和6年7月27日(土)に岩木川水辺プラザにおいて、中弘南黒建設協会と共催で「川でふれあい建設フェア2024」を開催しました。

自然に触れ合う機会が少ない子供たちが、親子で川と触れあえる機会を設けるための魚のつかみ取り大会と、建設業を身近に感じてもらうために、ものづくり体験コーナー、建設機械の展示・試乗体験を行いました。また今年は初めて岩木川に生息する魚を紹介する「青空水族館」も出展し来場者も興味津々でした。

当日はあいにくの雨模様でしたが多くの家族連れが訪れ、用意した500匹のニジマスが悪戦苦闘しながら、歓声を上げて楽しそうに追いかけたり、高所作業車やタイヤショベルなどの建設機械も人気があり、特に高所作業車は長蛇の列となりました。

ものづくり体験コーナーは、畳でのコースターづくり・チョークボードペイント等親子で真剣に取り組んでました。お越しいただいた皆様、大変ありがとうございました。



●令和6年度 総会・講演会 あおもりの川を愛する会 事務局

令和6年度総会を5月16日アラスカ会館に於いて開催しました。

当日、日本河川協会常務理事志賀文夫氏よりご挨拶をいただきました。

総会終了後、元教諭 本田伸氏より演題「描かれた岩木川～河川の利用と人々の生活」で講演をいただきました。

(参加者 総会：39名／講演会：42名)



本田伸氏



志賀常務理事



佐々木会長



水木幹事

●令和6年度「水辺で乾杯」水辺関心創造アクション あおもりの川を愛する会 事務局

全国一斉社会実験として水辺関心創造アクションが行われました。当会も参加し各場所（堤川40人、土淵川22人、田名部川22人、浅水川12人、旧十川28人）に集まって頂き、午後7時7分に川のほとりで乾杯致しました。（参加者 124名）



堤川 実施日：7月5日
人数：40人

土淵川 実施日：7月5日
人数：22人



田名部川 実施日：7月5日
人数：22人

浅水川 実施日：7月3日
人数：12人



旧十川 実施日：7月5日
人数：28人

●後長根川源流域の標柱建立活動

あおもりの川を愛する会 事務局

令和6年7月18日、弘前市に流れる後長根川の源流の地に標柱を建立しました。

毎年1ヶ所、源流の地に標柱を建立しており、今年で18本目となりました。（参加者11名）
 <大畑川、野辺地川、蟹田川、田名部川、土淵川、天田内川、浅水川、鳴沢川、十川、松館川、熊ノ沢川、浅瀬石川、大童子川、川内川、浅虫川、熊原川、飯詰川>



●河川技術講演会（青森河川文化講演会）

あおもりの川を愛する会 事務局

令和6年8月8日 五所川原市「オルテンシア」ふるさと交流圏民センターに於いて「河川技術講演会」を開催しました。

講師は、国土交通省東北地方整備局企画部長 宮本健也氏が演題「東北地方の社会資本整備について」と弘前市立博物館主査兼学芸員 小田桐睦弥氏が演題「津軽の災害史」で行いました。（参加者 211名）



佐々木会長



五所川原市 佐々木市長



宮下県知事



宮本健也部長



小田桐学芸員

● 鳶川の清掃活動

あおもりの川を愛する会 事務局

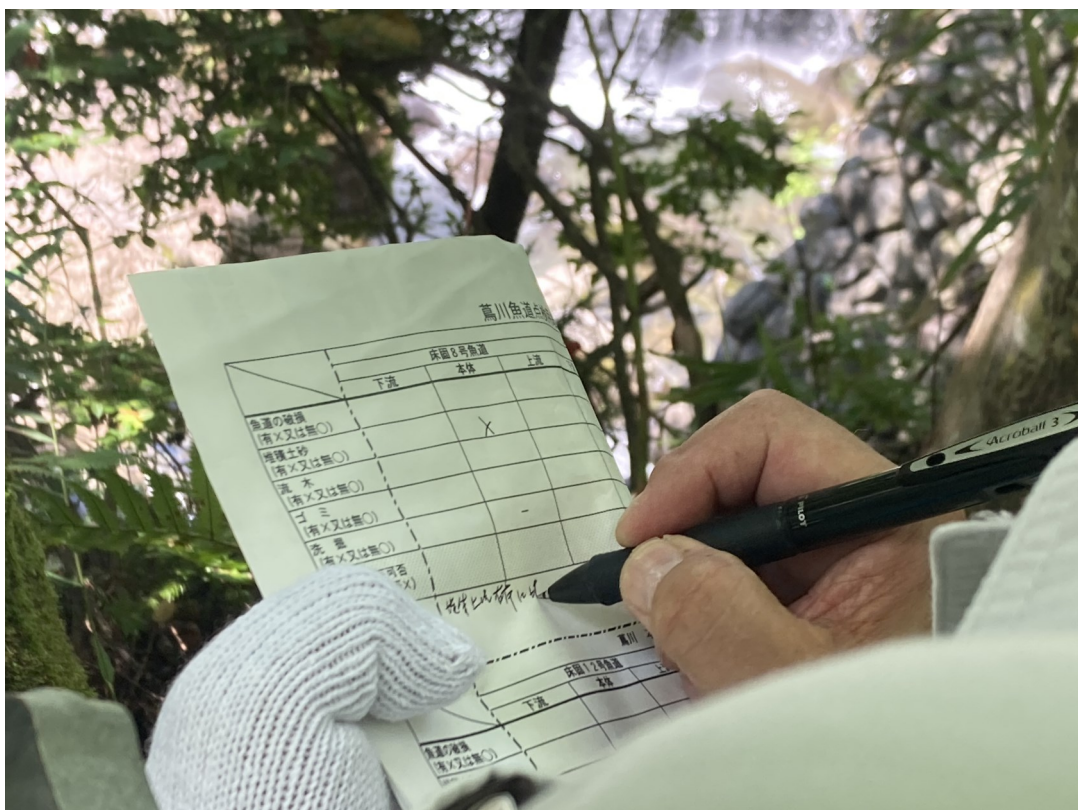
令和6年9月3日に、第18回目となります鳶川の清掃活動が行われました。
焼山町会長並びに会員が参加され、例年通り分別袋を渡しゴミ拾いを行いました。
(参加者 72名)



●魚類の移動経路の維持活動

あおもりの川を愛する会 事務局

令和6年9月3日に、イワナの人口産卵床づくりの活動からイワナの生息環境の保全の移行で魚道の調査を行いました。
(参加者 15名)



● 駒込ダム本体建設工事見学会
あおもりの川を愛する会 事務局

令和6年10月18日、駒込ダム建設所のご協力を頂き、「駒込ダム本体建設工事見学会」を行いました。

(参加者 9名)



駒込ダム（建設中）

FNP



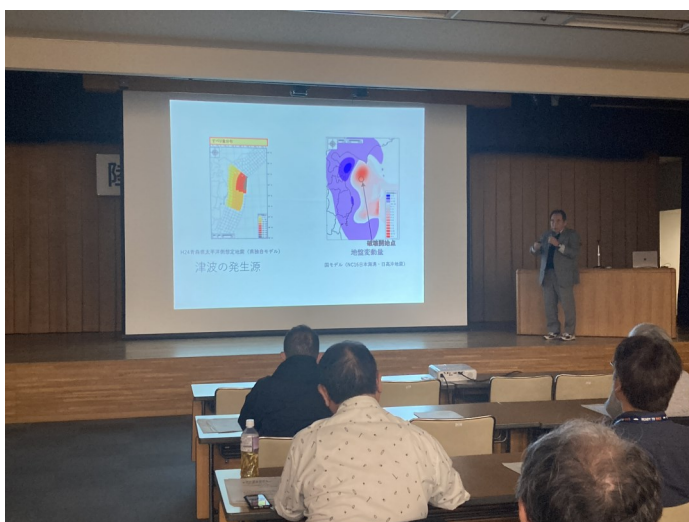
Ver.

G

●津波講演会

あおもりの川を愛する会 事務局

令和6年11月2日、リンクステーションホールにおいて「陸奥湾沿岸津波講演会」を行いました。
(参加者 112名)



●あおもりの川を愛する会 事務局より

「あおもりの川を愛する会」は28年目を迎えることになりました。現在の会員数は189名となっています。

今年度も会員の協力のもと、さまざまな活動を行う事が出来ました。これからも会の活性化が図れるよう頑張っていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

あおもりの川を愛する会

【事務局】 〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102番地1

TEL: 017-729-0922
FAX: 017-739-3561
E-mail: kon-h@nishidagumi.co.jp